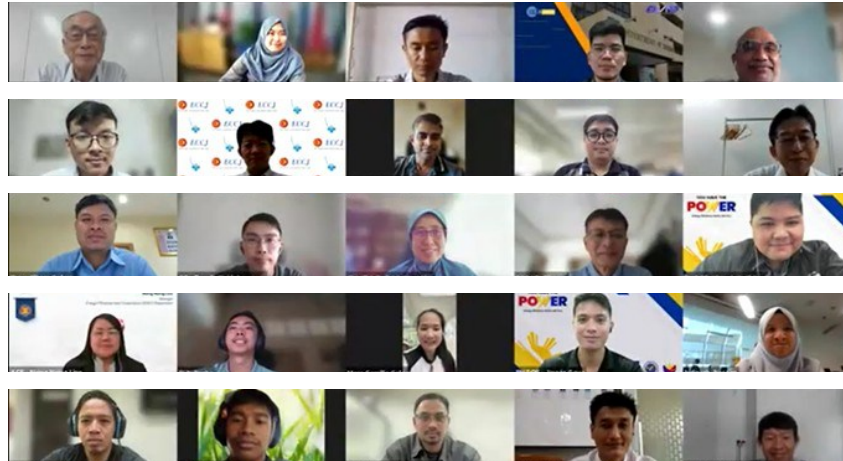


令和7年度 ASEAN向けAJEEP Scheme 4 CSMのオンライン実践研修を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和7年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4 CSM* Trial Runの第1弾として令和7年9月25日（木）から29日（月）、ASEAN10カ国政府の省エネ政策・制度・エネルギー管理士研修関係者並びにエネルギー管理士志望者を対象に、オンラインの実践研修（Practical Hands-on Training）を実施しました。



1. 目的：AJEEP Scheme 4の大きな課題の一つであるASEANの地域共通となる標準的なエネルギー管理士認定研修科目（SAEMAS* CSM）の構築は、2022年度からの4カ年計画で推進しており、この3カ年、ECCJはAMS 10カ国のSAEMAS WGと共に検討してきました。最終年度となる今年度は出来上がったCSMの3つの研修を実際に一通りオンラインでTrial Runとして実施し、ASEAN各国のエネルギー管理士研修関係者や政府関係者によりCSM研修テキストや運営法などをECCJが作成したFormatに沿って評価して報告書を提出してもらい、来年1月のWSで確認・討議の上、CSMの最終化を図ると共に、当該制度未整備4カ国を中心にASEAN EMP*を目指すエネルギー管理士志望者にも実際に研修に参加してもらいその面からの評価も行います。
2. 参加者：CSM Trial Run全体としては評価者が37名、研修生が34名、計68名（内3名は両方に参加）が登録しましたが、この研修には3日間で延べ122名が参加。またECCJからは延べ11名が参加。
3. 研修概要と結果：
 - (1) CSMのTrial Runの第1弾としてタイ・エネルギー省のMini-Plant研修設備を使った実践研修（Practical Hands-on Training）を3日間、ビデオを使って実施しました。
 - (2) このビデオは2021年度にオンラインで実施したAJEEP Scheme 2 TOT（トレーナー研修）の内、タイで3日間実施した実践研修の録画を編集したもので、ポンプ、ファン、コンプレッサー、燃焼炉、蒸気トラップ、照明、空調の研修機材別にそれらの講義と各設備を使ったデータ取りデモ、計測診断デモや熱勘定講義及びSimulationソフトの利用も含めた12編から構成されるが、SAEMAS CSMの実践研修の教材としてこれらの機材のない国にも活用できることを確認しました。
 - (3) 研修生27名にはオンラインで1.5時間の試験を受けてもらいましたが、合格者は17名でした。後日、この日に受験できなかったもの2名に試験を課し合格者は計19名となりました。
 - (4) 評価結果はこの後の研修も含めて各国でまとめた上で12月1日までに提出としています。
 - (5) CSM Trial Runとしては引き続き、9月30日にエネルギー診断演習を実施しました。

*CSM：Common Standard Module: 共通標準研修科目

*SAEMAS: Sustainable ASEAN Energy Management Accreditation Scheme

*EMP: Energy Management Professional；ASEAN地域に新たに設定するエネルギー管理プロ資格